

## 2 地学

### 押さえておきたいポイント

#### 天体

- 1 6400, 40000
- 2 109, 400
- 3 400
- 4 東, 北, 西, 西, 東, 南中
- 5 23.4, 公転, 春分, 夏至, 秋分, 冬至
- 6 135, はやく, おそく, 360, 60

#### [解説]

標準時より南中時刻がずれる割合は、経度1度あたり4分である。

- 7 恒星, 惑星, 惑星, 衛星, 彗星 (すいせい)  
反対, 流星 (流れ星), 隕石
- 8 西, よいの明星, 東, 明けの明星
- 9 6000, 黒点
- 10 高く, 長い, 低く, 短く
- 11 北, 長い, 南, 長い
- 12 ① 太陽は真東から出て真西にせずむ。  
② 昼と夜の長さが等しい。
- 13 ① 昼・夜がくり返される。つまり, 太陽が東から出て西へせずむ。  
② 月・星などの天体も, 東から出て西へせずむ。  
③ 北の空の星は, 北極星を中心に反時計回りに動いて見える。など
- 14 同じ時刻に見える星座が1年を周期として移り変わっていく。など
- 15 ① 太陽の南中高度の変化  
② 日の出や日の入りの方位の変化  
③ 昼と夜の長さが, 1年を周期として変化すること。など

#### [解説]

このため, 四季の変化が生じる。

- 16 春分: 54度 夏至: 77.4度 冬至: 30.6度

#### [解説]

春分 (秋分):  $90 - (\text{その土地の緯度})$

夏至:  $90 - (\text{その土地の緯度}) + 23.4$

冬至:  $90 - (\text{その土地の緯度}) - 23.4$

- 17 A 夏至 B 春分, 秋分 C 冬至

- 18 27.3, 29.5

- 19 50 (48), 12, 東

- 20 公転周期, 自転周期

- 21 公転

- 22 満月, 新月, 上弦の月, 下弦の月

- 23 ア 12時 (正午) イ 15時 ウ 18時  
エ 21時 オ 24時 (真夜中) カ 3時  
キ 6時 ク 9時

#### [解説]

月は太陽の光を受けてかがやいているので, 太陽の光が当たっている部分だけが見える。月の公転周期は約27.3日であるが, 地球も太陽のまわりを公転しているため, 月の満ち欠けの周期は約29.5日になる。

- 24 日食は, 太陽・月・地球の順で一直線上になり, 月によって太陽がかくされる現象。

月食は, 太陽・地球・月の順で一直線上になり, 月が地球のかげに入って, 満月が欠けたり暗く見えたりする現象。

- 25 36, 0, 90

- 26 15

- 27 1, 30

- 28 4, 2

- 29 A デネボラ (しし座)  
B アルクトゥルス (うしかい座)  
C スピカ (おとめ座)

- 30 A ベガ (こと座)  
B デネブ (はくちょう座)  
C アルタイル (わし座)  
x アンタレス (さそり座)

- 31 秋の四辺形